

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立小山小学校 第1学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none">・単元テストとノート等の評価によると、文章を書くときの濁点、半濁点、助詞、拗音、促音の使い方に課題が見られる児童が20%ほどいる。・単元テストなど自分の力で文章を読み取ることができている児童は80%である。	<ul style="list-style-type: none">・濁音、半濁音、拗音などが付く言葉を集める、練習問題に取り組むなどをして定着させ、80%以上の児童が文章でも正しく使えるようにする。・自分の力で文章を読み取れる児童を85%にすることを目標とする。そのために、言葉や文脈などに着目し、読み取りを深めるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none">・単元末テストの結果などによると、足し算、引き算の計算を自力解決する力や文章読解力は、単元テストなど80%以上の正答率である一方、正答率80%以下の児童も20%いる。・単元テストとノート等の評価によると、10のまとまりや数系列などの算数的思考力のある児童が80%程度で、理解の定着に不十分な児童が20%いる。	<ul style="list-style-type: none">・文章問題を考えるときは、「ぜんぶで」「あわせて」「ちがいは」などの手がかりとなる言葉に着目し、正しく式が立てられるようにする。具体物や半具体物を操作する活動を行い、状況を想像することで理解できるようにし、正答率85%を目標にしていく。・数を読む、書き表す、ブロックなど半具体物を操作して計算するなどの機会を多く設ける。
体育	<ul style="list-style-type: none">・男女ともに「長座体前屈」のTスコア（偏差値）が全国平均よりも低い。（男子：-3.43 女子：-3.48）男子は「反復横跳び」が1.68、女子は「20mシャトルラン」が3.39 全国平均よりもTスコア（偏差値）が低かった。	<ul style="list-style-type: none">・体づくり運動を積極的に授業に取り入れ、柔軟性や俊敏性、持久力を高める。来年度は、「長座体前屈」、男子は「反復横跳び」女子は「20mシャトルラン」が全国平均を上回ることができるようになる。
生活	<ul style="list-style-type: none">・アサガオなどや生き物を積極的に観察している。また、世話することが好きで喜んで活動している。観察カードでは、体験したことなどで気付いたことを、多くの観点から文章や絵で表現できている児童は80%である。観察する視点を更に広げて、気付きをたくさん表現できるようにし、良さを伸ばしていきたい。	<ul style="list-style-type: none">・観察の観点を具体的に示し、発表やカードで共有する場を設け、学びの場を設ける。定着状況を見て、個別に声を掛け、90%以上の児童が体験したことなどで気付いたことを、多くの観点から文章や絵で表現できるようにする。（観察カード、行動観察）